

2021年1月27日(水)

祈禱会の皆様、

おはようございます！（夜の祈禱会の皆様、こんばんは！）祈禱会の時間です！

【テーマ】「アグルの7つの格言」③主が備えている境界線の中で生きる知恵

【聖書のみ言葉】箴言30:17-33を読みましょう。

【解説】

アグルは、家庭や地域社会、国家などにおいて、主が備えている境界線（秩序や賜物・働きなど）の中で生きることの大切さを教えています。子は、両親に高ぶることによって、主が家庭に備えている秩序を犯してはならない(17)。その後、4つの「四つのも」の格言を用いて教えています。

- ① 4つの「不思議な道」(18-20)。神と人による4つのすばらしい道と比べると、姦淫の女の道は何とひどい道であることか。それは、主が、社会の最小単位として定めている結婚の秩序を侵す(20)。
- ② 4つの「社会に激震を起こす出来事」(21-23)。国家でその時々 of 社会的文化における一般的な枠組みを超える出来事が起こると、その社会に激震が走る。
- ③ 4つの「小さいけれど知恵ある生き物」(24-28)。体は小さいが、主が備えている賜物・働きの中で生きる生き物がいる。彼らの生き方には主の知恵の素晴らしさが表される。
- ④ 4つの「堂々と歩くもの」(29-31)。主が備えている境界線の中で生きる生き方には堂々たるものがある。

それだから、もし、高ぶりがあるなら、それを抑えなさい。そうでないと、混乱や問題が生じる(32-33)。

【適用】

私たちの社会でも、人々が高ぶりの内に自分の思いのままに生きて、主が備えている境界線を侵す時、必ず混乱や問題が生じます。しかし、主が、それぞれの分に応じて備えている境界線に生きる生き方には、主の知恵の素晴らしさが表され、私たちが確信と力に満ちて生きることができるでしょう。主のみ前に高ぶることなく、主が備えている境界線の中で歩むことができるよう、主に助けて頂きましょう(ローマ13:1-2)。

【祈り】 下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう(主に、週報から)。その他にも個人的な祈りの課題があれば、祈りましょう。 * 皆さんに共に祈ってほしいということが何かありましたら、牧師までご一報ください。

ありがとうございました！また次週の祈禱会に配信します！

百合丘キリスト教会

川井信雄

(「祈禱会の時間です！」の受信をご希望の教会員の方には転送して下さい。その他、通常祈禱会に来て下さっている方にもどうぞ。その際、次回直接メールできるように、私にもCCして頂ければ感謝です。)